

株式会社

サンヨーハウジング名古屋

(証券コード8904)

第16期 中間事業報告書

2004年9月1日～2005年2月28日



SANYO HOUSING NAGOYA

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。第16期中間事業報告書（2004年9月1日から2005年2月28日まで）ができましたので、ご報告させていただきます。

今後とも事業の発展のために尽力いたしますのでよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 宮崎 宗市

サンヨーハウジング名古屋の理解のために

Q 今中間期も引続き好業績おめでとうございます。

A ありがとうございます。株主の皆さまをはじめ、たくさんの皆さまのおかげを持ちまして今中間期は、過去最高の決算となりました。

家づくりで大切なのは「生活」を重視した快適な住まいを創ることです。

当社は、単に家を建てるのではなく、「住環境」を重視し、お客様との対話を大切にし、確かな専門知識と技術を生かしたコンサルティングを心がけています。当社では、「住環境」とは交通などの立地的な環境のみならず、ライフスタイルに合わせた環境、返済計画などの経済的な環境などをふくめて考えております。

この当社の姿勢がお客様に支持いただき、着実に成長させていただいているものと考えております。

今後も初心を忘れず、お客様の夢をカタチにする「信頼のパートナー」としてご提案しつづけて、さらなる発展を目指していきたいと思っております。

Q 今後の事業展開について教えてください。

A 当社は、東海圏を中心に事業展開を図ってきました。

2003年にM&Aによりマンション建築・販売に実績を持ち兵庫県西宮市に拠点を置く巨勢雄(株)、(株)巨勢工務店を子会社化しました。また、西宮、吹田の両支店を開設し、関西圏へ本格的に進出し、積極的な展開を図ってきました。この関西圏においても、次第に「住む人本位」の家づくりを、「信頼のパートナー」としてご提案しつづける、当社の営業スタイルが理解され、業績に大きく寄与してきました。

今後も積極的な営業活動を行っていきます。

首都圏については、2004年に西東京地区を営業エリアとした八王子支店を開設し、今後積極的な営業エリアの拡大を図っていきます。

そして、東・名・阪を結ぶネットワークの拡張と、戸建住宅の新築・立て替え・リフォーム事業やマンション・公共事業など、グループ企業による展開も一層の充実を図っていきます。

さらに高められた企業パワーをもって、お客様にたいしてより大きなメリットを提供していきます。



Q サンヨーハウジング名古屋の住宅について説明してください。

A サンヨーハウジング名古屋の住宅の工法は主にツーバイフォー工法です。「ツーバイフォー」の名前の由来は、その基本構造材として「約2インチ×約4インチ」の木材が主に使用されていることによります。

「ツーバイフォー工法」は、多雪凍結地域、地震の多い地域、乾燥地域、湿気の多い地域など過酷な気象条件の多いアメリカで生まれ育ち、日本で20年以上の実績のある工法です。

「ツーバイフォー工法」はツーバイフォー材を基本として作られた枠組みと面材で、壁、天井、床と6つの面で構造体を構成します。木は圧縮力に対して強いため、上からの力に対しては、従来の軸組工法でもツーバイフォー工法でも、ともに強度を発揮します。しかし、地震などのように横からの力に対しては軸組工法に比べ非常に強いという特徴を持っています。実際、倒壊家屋の多く出た阪神大震災ではツーバイフォー住宅は一棟も全壊しなかったという記録もあるほどです。

そして、「ツーバイフォー工法」自体が湿気を極力排除するドライ枠を

採用しており、室内に湿気が溜まらないようにし、室内と室外の温度差を小さくしています。その結果、結露の問題も解消しております。



Q 最後に、株主の皆さまへ一言お願いします。

A 当社では株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と位置付け、株主の皆さまを重視した経営を行なっています。

個人投資家の方が投資しやすい環境をつくりたいということで、売買単価額を引き下げる、また流通株式を増加させる、という目的で、2003年8月、2004年8月、2005年2月にそれぞれ1株→2株への株式分割を実施しました。

また、磐石な経営基盤づくりと株主資本利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当の継続を基本的な方針としています。

そして2005年2月中間期より、株主優待の見直しを行い、株主の皆さまの利便性が向上することを考え、従来進呈させていただいておりました「マックカード」に替えて、「QUOカード」を進呈させていただくことといたしました。一層お近くのお店でご利用いただけるものと思います。

今後も、より確固たる経営基盤の確保に努めながら、株主の皆さまへの利益還元を積極的に図ってまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

主な沿革

- | | |
|-------|---|
| 1989年 | ・株式会社サンヨーハウジング名古屋 設立 |
| 1991年 | ・豊田支店 開設 |
| 1992年 | ・サンヨーコンサルタント株式会社 設立
・春日井支店 開設 |
| 1995年 | ・名古屋南支店 開設
・一級建築士事務所 登録 |
| 1997年 | ・名古屋東支店 開設
・建設本部第1ビル 竣工 |
| 1998年 | ・宅地建物取引業建設大臣免許取得
・岐阜支店 開設 |
| 1999年 | ・建設業建設大臣許可
・サンヨー土木測量株式会社 設立
・新本社社屋竣工、本社移転（現在に至る） |
| 2000年 | ・名古屋西支店 開設 |
| 2001年 | ・四日市支店 開設 |
| 2002年 | ・浜松支店 開設
・東証・名証第2部同時上場
・豊橋支店 開設
・建設本部第2ビル 竣工 |
| 2003年 | ・サンヨーベストホーム株式会社及びサンヨーライフネット株式会社を子会社化（2004年9月に合併し、現在のサンヨーベストホーム株式会社）
・株式会社巨勢工務店及び巨勢雄株式会社を子会社化
・西宮支店 開設
・サンヨーシンクタンク 開設
・吹田支店 開設 |
| 2004年 | ・東証・名証第1部同時指定
・八王子支店 開設 |
| 2005年 | ・刈谷支店 開設 |

■2005年2月中間期の経過及び成果

2005年2月中間期においては、企業収益が回復し、雇用情勢も改善したものの個人消費の伸びが鈍化するなど景気回復のペースが緩やかになってきました。

当不動産・住宅業界では、平成16年度新設住宅着工件数が2年連続増加となり、各金融機関住宅ローンの積極的取り組みや低金利など当業界における追い風要因もあり、依然として、良質な住宅に対する需要は根強いものがあります。

このような環境のもと、当社は受注の拡大を経営課題と位置付け、営業力の一層の強化と営業拠点の強化を図ってまいりました。その一環として2004年9月に八王子支店を開設し、念願の首都圏進出を果たしました。また、2005年2月には刈谷支店（愛知県）を開設いたしました。

この結果、受注高141億29百万円（前年同期比5.9%増）、売上高138億79百万円（同17.6%増）、営業利益10億53百万円

（同14.6%増）、経常利益10億69百万円（同14.2%増）となり、中間純利益は6億12百万円（同14.3%増）となりました。

■2005年8月期の見通し

経営環境は、原油高など不安材料はあるものの景気は底堅く推移するものと思われれます。当社はお客様との信頼関係の深耕に努める一方、事業構造の変革に機動的に対応しつつ、経営の一層の合理化を推進して業績の向上に取り組んでいきます。

2005年8月期の通期業績予想は、売上高304億57百万円（前期比10.7%増）、経常利益25億38百万円（同8.0%増）、当期純利益14億19百万円（同6.5%増）を見込んでおります。

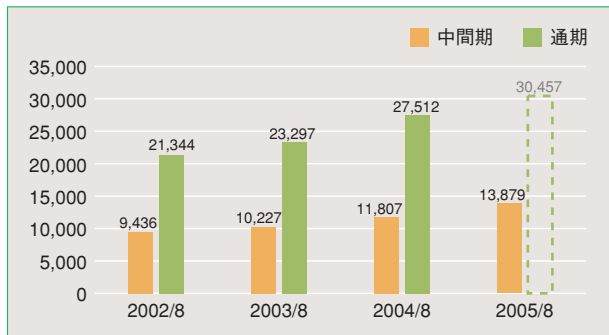
実績と予想

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
2005年8月期予想 (前期比)	304億57百万円 (10.7%増)	25億38百万円 (8.0%増)	14億19百万円 (6.5%増)
2005年2月中間期実績	138億79百万円	10億69百万円	6億12百万円
2004年2月中間期実績	118億7百万円	9億36百万円	5億35百万円

業績の推移等

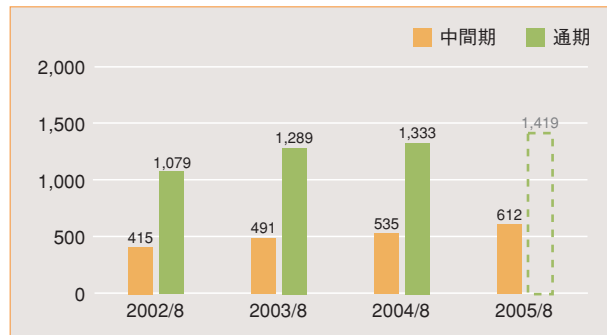
売上高

(単位：百万円)



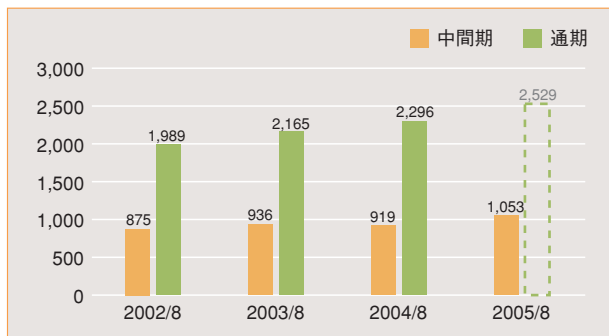
当期純利益

(単位：百万円)



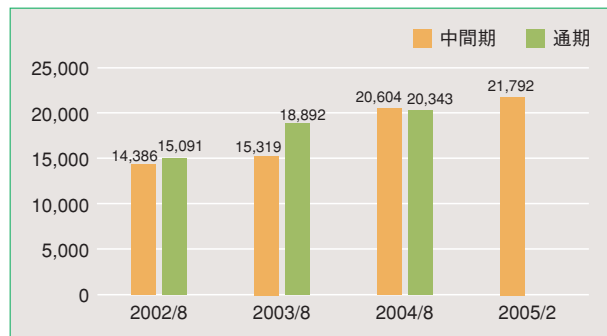
営業利益

(単位：百万円)



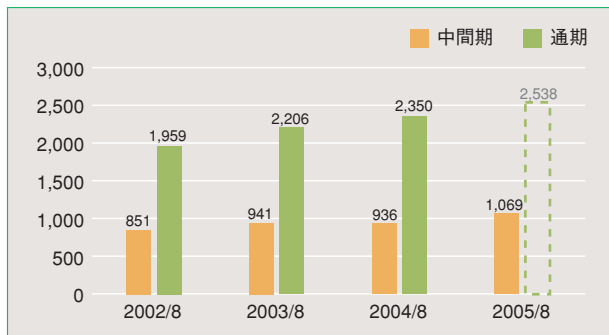
総資産

(単位：百万円)



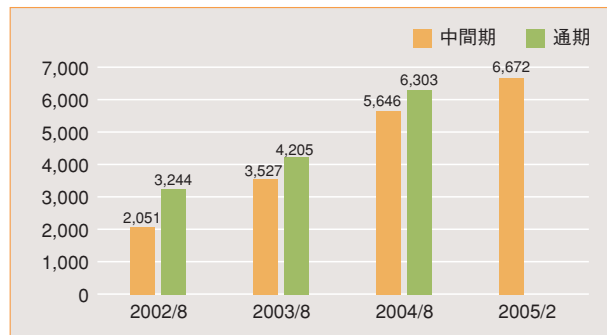
経常利益

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



(注) []は予想値です。

◆中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期末 (2004年2月29日現在)	前期末 (2004年8月31日現在)	当中間期末 (2005年2月28日現在)	科 目	前中間期末 (2004年2月29日現在)	前期末 (2004年8月31日現在)	当中間期末 (2005年2月28日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	18,502	18,208	19,586	流動負債	12,165	11,259	13,082
現金預金	5,740	5,870	5,452	工事未払金等	1,927	2,352	2,300
完成工事未収入金等	152	142	165	短期借入金	4,262	3,783	5,157
有価証券	24	26	26	1年以内返済予定長期借入金	728	306	306
開発事業支出金等	12,037	11,554	13,349	1年以内償還予定社債	—	100	400
繰延税金資産	242	186	162	未払法人税等	424	550	476
その他	357	471	477	未成工事受入金等	4,553	3,860	4,148
貸倒引当金	△ 52	△ 44	△ 47	賞与引当金	28	51	42
固定資産	2,102	2,135	2,206	その他	241	254	250
有形固定資産	1,324	1,333	1,329	固定負債	2,792	2,781	2,037
建物	368	368	360	社債	1,000	900	500
土地	720	740	740	長期借入金	1,500	1,547	1,194
建設仮勘定	32	13	6	繰延税金負債	97	72	71
その他	201	210	222	退職給付引当金	19	17	13
無形固定資産	284	253	239	役員退職慰労引当金	86	92	98
投資その他の資産	493	548	636	その他	87	152	159
投資有価証券	71	67	76	負債合計	14,957	14,040	15,120
長期貸付金	10	9	11	(少数株主持分)			
繰延税金資産	226	234	246	少数株主持分	—	—	—
その他	205	258	313	(資本の部)			
貸倒引当金	△ 20	△ 20	△ 11	資本	1,458	1,460	1,460
資産合計	20,604	20,343	21,792	資本剰余金	624	626	626
				利益剰余金	3,560	4,214	4,577
				その他有価証券評価差額金	3	1	7
				資本合計	5,646	6,303	6,672
				負債、少数株主持分及び資本合計	20,604	20,343	21,792

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (2003年9月1日から 2004年2月29日まで)	前 期 (2003年9月1日から 2004年8月31日まで)	当中間期 (2004年9月1日から 2005年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 618	609	△ 1,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	32	△ 132
財務活動によるキャッシュ・フロー	889	△ 103	737
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増加額	265	538	△ 416
現金及び現金同等物の期首残高	4,209	4,209	4,748
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,474	4,748	4,331

●ポイント

・営業活動によるキャッシュ・フローは土地仕入れの増加などたな卸資産の増加による支出(1,794百万円)などのため支出超過となりました。

・財務活動によるキャッシュ・フローは借入れによる資金調達(1,020百万円)などにより収入超過となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 中 間 期 (2003年9月1日から 2004年2月29日まで)	前 期 (2003年9月1日から 2004年8月31日まで)	当 中 間 期 (2004年9月1日から 2005年2月28日まで)
売上高	11,807	27,512	13,879
売上原価	9,519	22,266	11,282
売上総利益	2,287	5,246	2,597
販売費及び一般管理費	1,367	2,949	1,543
役員報酬	62	129	68
従業員給与手当	529	1,182	637
賞与引当金繰入額	20	△2	△4
退職給付費用	15	29	12
広告宣伝費用	163	305	167
租税公課	65	192	62
連結調整勘定償却	30	60	30
その他の	480	1,051	569
営業利益	919	2,296	1,053
営業外収益	97	210	87
受取利息	1	1	0
受取配当金	0	2	0
受取代願手数料	15	28	17
契約解除約金	8	19	10
不動産取得税還付金	31	58	25
売買有価証券運用益	3	—	—
安全協力費	—	—	18
雑収入	37	99	13
営業外費用	80	156	72
支払利息	61	130	62
新株発行費用	13	15	—
売買有価証券運用損	—	—	0
雑損	6	9	8
経常利益	936	2,350	1,069
特別利益	12	20	—
固定資産売却益	1	1	—
投資有価証券売却益	10	18	—
特別損失	4	5	7
固定資産売却損	0	0	—
固定資産除却損	4	4	0
貸倒引当金繰入額	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	—
ゴルフ会員権償却額	—	—	7
税金等調整前中間(当期)純利益	943	2,365	1,061
法人税、住民税及び事業税	400	1,002	442
法人税等調整額	7	30	6
中間(当期)純利益	535	1,333	612

●ポイント

・売上高は、前中間期に比べて2,072百万円増加しました。

・販売費及び一般管理費は関西圏、首都圏への進出に伴う人件費が増加しました。

・営業利益、経常利益は販売費及び一般管理費の増加にもかかわらず、売上高の増加により前期を上回りました。

・中間純利益は、前中間期を76百万円上回り(14%増)過去最高となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

◆中間個別財務諸表

■中間個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期末 (2004年2月29日現在)	前期末 (2004年8月31日現在)	当中間期末 (2005年2月28日現在)
(資産の部)			
流動資産	15,357	15,573	16,674
固定資産	2,530	2,605	2,793
有形固定資産	818	833	830
無形固定資産	25	26	43
投資その他の資産	1,686	1,746	1,919
資産合計	17,888	18,179	19,467
(負債の部)			
流動負債	10,102	9,996	11,407
固定負債	2,271	2,139	1,649
負債合計	12,374	12,135	13,057
(資本の部)			
資本金	1,458	1,460	1,460
資本剰余金	624	626	626
利益剰余金	3,430	3,954	4,316
その他有価証券評価差額金	1	1	6
資本合計	5,514	6,043	6,410
負債資本合計	17,888	18,179	19,467

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間個別損益計算書

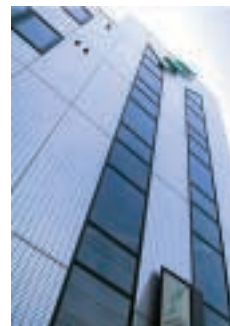
(単位：百万円)

科 目	前中間期 (2003年9月1日から 2004年2月29日まで)	前 期 (2003年9月1日から 2004年8月31日まで)	当中間期 (2004年9月1日から 2005年2月28日まで)
売上高	10,785	24,119	12,676
売上原価	8,877	19,863	10,480
売上総利益	1,907	4,255	2,195
販売費及び一般管理費	1,057	2,265	1,196
営業利益	849	1,990	999
営業外収益	86	182	86
営業外費用	70	135	62
経常利益	866	2,037	1,024
特別利益	1	1	—
特別損失	0	1	7
税引前中間(当期)純利益	867	2,038	1,016
法人税、住民税及び事業税	349	853	420
法人税等調整額	27	25	△3
中間(当期)純利益	491	1,159	599
前期繰越利益	119	119	197
中間配当額	—	143	—
中間配当に伴う利益準備金積立額	—	—	—
中間(当期)未処分利益	610	1,135	797



サンヨーハウジング名古屋

本社 & 本店	愛知県名古屋市長区瑞穂区妙音通三丁目31番地1	TEL 052-859-0034
名古屋北支店	愛知県名古屋市長区西区五才美町3番地	TEL 052-509-4134
名古屋南支店	愛知県名古屋市長区天白区野並三丁目412番地1 DO! 野並2階	TEL 052-891-3446
名古屋東支店	愛知県名古屋市長区名東区本郷二丁目182番地 スカイアークビル1階	TEL 052-760-0834
名古屋西支店	愛知県一宮市赤見三丁目3番1号	TEL 0586-26-1534
豊田支店	愛知県豊田市小坂本町一丁目5番地3 朝日生命新豊田ビル1階	TEL 0565-32-8228
刈谷支店	愛知県刈谷市大手町二丁目15番地 CENTERHILL OTE21 1階	TEL 0566-62-8434
豊橋支店	愛知県豊橋市大手町92 あいおい損保・豊橋ビル1階	TEL 0532-51-5634
四日市支店	三重県四日市市安島一丁目6番14号 ラテラビル5階	TEL 0593-50-3734
岐阜支店	岐阜県岐阜市宇佐三丁目17番16号	TEL 058-268-6534
浜松支店	静岡県浜松市常磐町145番地の1 浜松MHビル1階	TEL 053-413-3434
吹田支店	大阪府吹田市豊津町1番21号 エサカ中央ビル1階	TEL 06-6337-1134
西宮支店	兵庫県西宮市和上町1番16号 日本生命西宮ビル1階	TEL 0798-38-7234
八王子支店	東京都八王子市横山町10番2号 アクサ八王子ビル1階	TEL 0426-31-3034
建設本部	愛知県愛知郡長久手町久保山812番地	TEL 0561-64-0717
資材部	愛知県名古屋市長区熱田区白鳥二丁目10番1号 シンクタンクビル	TEL 052-679-3234



本社



シンクタンクビル

サンヨーハウジンググループ

サンヨーコンサルタント株式会社	愛知県名古屋市長区千種区今池南11番13号	TEL 052-735-5834
サンヨー土木測量株式会社	愛知県名古屋市長区千種区今池南11番13号	TEL 052-735-7634
サンヨーベストホーム株式会社	愛知県名古屋市長区熱田区白鳥二丁目10番1号	TEL 052-683-0860
株式会社巨勢工務店	兵庫県西宮市生瀬町一丁目22番12号	TEL 0797-84-2621
巨勢雄株式会社	兵庫県宝塚市光明町26番28号	TEL 0797-71-2603



刈谷支店 (新設)



建設本部



巨勢工務店 本社



サンヨー
コンサルタント
本社

◆株主優待

株主の皆さまの利便性を考慮し、よりご利用いただきやすくするために株主優待の見直しを行いました。従来進呈させていただいておりました「マックカード」に替えて、「QUOカード」を進呈させていただきます。

「QUOカード」は下記にもご紹介させていただきましたが、全国のコンビニ・ファミリーレストラン・ガソリンスタンド等で広くお使いいただけるプリペイドカードです。

株主優待は毎年2月・8月末日の基準日の最終株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された1株以上保有の株主の皆さまを対象とさせていただきます。

1株以上	—————	3,000円分
5株以上	—————	5,000円分
10株以上	—————	10,000円分



QUO クオ・カード 様々な分野の利用加盟店を充実させることにより、より幅広い消費者のニーズを満たすことが出来るプリペイドカードとなっております。

生活サイクルの中で利用

セブン-イレブン 10,616全店
ローソン 7,993全店
ファミリーマート 6,294全店
ポプラ・生活彩家・くらしハウス 973全店

レジャー用途で利用

ENEOS 新日本石油 3,013加盟店
JA-SS 671加盟店
Deny's デニーズ 579全店
すかいらくグループ 2,476店

美容と健康の目的で利用

マツモトキヨシ 726全店

趣味の分野で利用

HMV 46全店
博品館 3店舗

いろいろな場所で使えて便利だね!

充実した加盟店

(エリア別加盟店数)

北海道・東北地区	3,970店
甲信越・北陸地区	2,320店
関西地区	5,025店
中国地区	2,191店
関東地区	12,857店
中部地区	2,883店
四国地区	682店
九州・沖縄地区	3,469店

QUO (2005年1月現在) 株式会社 クオカード

<株主の皆様へ> アンケートのお願い

弊社では、株主様のご意見を今後のIR活動や経営の参考にさせていただきたいと考えております。つきましては本アンケートにご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。なお、お手数ですが、ご回答は同封の「アンケート回答はがき」にご記入の上、平成17年6月30日（木）までに投函ください。

- (1) 当社株式を保有されている理由は何ですか？（複数回答可）
①株価値上がり ②配当金 ③事業内容への関心 ④財務内容
⑤株主優待 ⑥将来性 ⑦その他
- (2) 今後の当社株式の保有予定期間をお聞かせください。
①3年以上 ②3年未満～1年以上 ③1年未満～6ヶ月以上
④6ヶ月未満 ⑤未定
- (3) 当社株式を取得する際、株主優待はどの程度ご考慮されましたでしょうか？
①株主優待が購入の決め手になった ②いくつかの取得動機のうちの一つ
③株主優待は知っていたが取得の動機にはならなかった ④株主優待を知らなかった
- (4) (3)で①～③とお答えになった方に伺います。
当社の株主優待制度を何でご存知になりましたか？
①当社のホームページ ②投資関係のホームページ ③雑誌 ④その他
- (5) 今回より株主優待をマックカードからクオ・カードに変更致しました。
この変更についてどうお考えでしょうか？
①大変満足 ②満足 ③普通 ④不満
- (6) 当社のホームページをご覧になったことがありますか？
①よく見る ②時々見る ③見たことがない
- (7) ご意見、ご要望等がございましたらご記入ください。

ご回答、ありがとうございました。

<個人情報の取扱いについて>

ご記入いただいた個人情報について、IR関連のアンケートや情報配信など株主様へ有用な情報をお届けする為等の目的以外で使用することおよび業務の委託先以外の第三者に提供することはありません。

◆株式の状況 (2005年2月28日現在)

■株式の状況

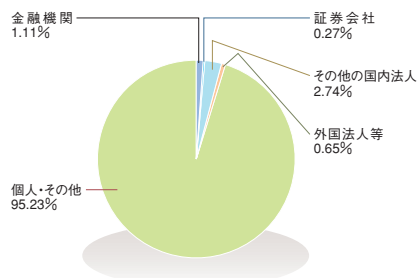
会社が発行する株式の総数	84,000株
発行済株式の総数	52,436株
株主数	3,685名

■大株主 (上位)

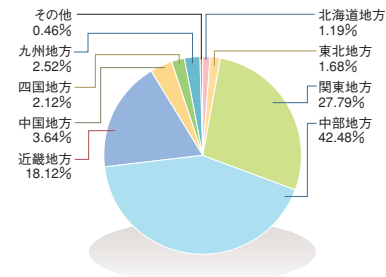
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
宮崎宗市	20,632	39.35
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	4,957	9.45
株式会社UFJ銀行	960	1.83
クレディットバンク エスエイ ルクセンブルジョワーズ・シリウス ファンド・ジャパン オパチュニティズ サブ ファンド	900	1.72
株式会社十六銀行	800	1.53
半田信用金庫	720	1.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	610	1.16
朝日火災海上保険株式会社	600	1.14
株式会社愛知銀行	480	0.92
あいおい損害保険株式会社	480	0.92
岡崎信用金庫	480	0.92

■分布状況

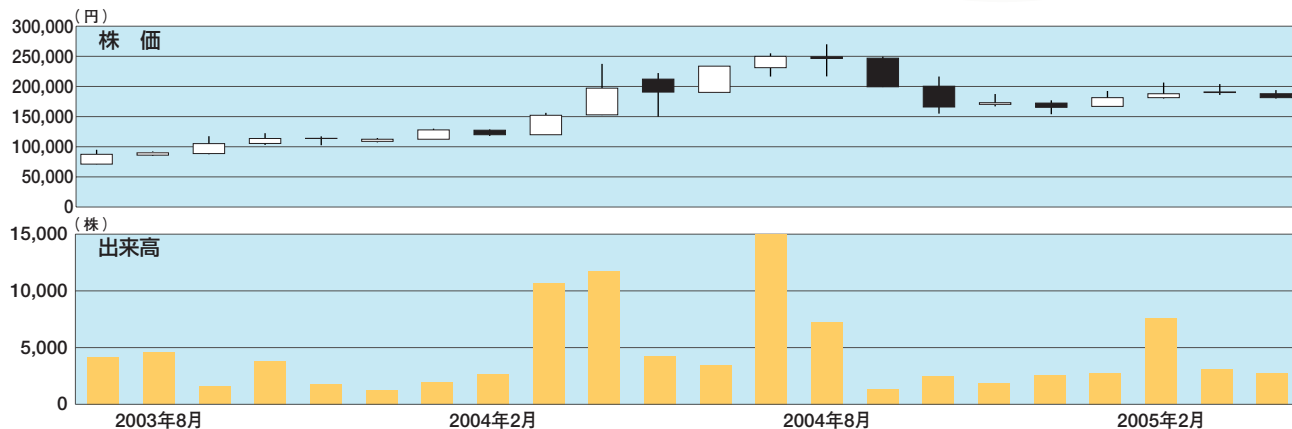
●所有者別分布状況 (株主数)



●地域別分布状況 (株主数)



■株価・出来高の推移



(注) 2003年8月末日の株主の方に対し1:2、2004年8月末日の株主の方に対し1:2、2005年2月末日の株主の方に対し1:2の株式分割(無償)を実施しております。上記グラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味し週及修正を行った場合の数値を表記しております。

◆会社概要 (2005年2月28日現在)

社名 株式会社サンヨーハウジング名古屋

本社 〒467-0842
名古屋市瑞穂区妙音通三丁目31番地の1
TEL 052-859-0034 (代表)

設立 1989年11月16日

資本金 1,460百万円

従業員数 336名 (グループ会社含む)

事業内容

- ・住宅の企画販売事業 住宅用地の企画販売とその土地に建つ住宅の建設請負
- ・住宅の請負工事事業 注文住宅の設計と建設請負及び住宅のリフォーム工事請負
- ・一般請負工事事業 公共工事、事業用建物建設請負
- ・その他の事業 不動産仲介、測量・登記

役員

代表取締役社長	宮崎宗市
専務取締役	沢田正子
専務取締役	白石義博
常務取締役	吉川銃作
常務取締役	水谷彰秀
常勤監査役	石原明夫
監査役	氏原栄
監査役	長屋利明

◆株主メモ

決算期 8月31日

定時株主総会 11月

株主確定基準日 定時株主総会・利益配当金 8月31日
中間配当金 2月末日
その他必要がある時は、予め公告して臨時に定めます。

売買単位 1株

名義書換代理人 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部

郵送物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社証券代行部

電話照会先 [住所変更等用紙のご請求]
フリーダイヤル 0120-175-417
[その他のご照会]
フリーダイヤル 0120-176-417

ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店

公告掲載新聞 日本経済新聞

貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス <http://www.sanyo-hn.co.jp/kessan/index.html>



株式会社

サンヨーハウジング名古屋

名古屋市瑞穂区妙音通三丁目31番地の1
TEL 052-859-0034

<http://www.sanyo-hn.co.jp/>